

★学校の教育目標 ◎ よく考える子ども ○ 思いやりのある子ども ○ 体をきたえる子ども ○ 最後までやりぬく子ども		★重点計画の概要 ○ 確かな学力 知識・技能、思考力・判断力・表現力等を身に付け、意欲的に学ぶ児童の育成 ○ 豊かな人間性 自己を律し、他と協調して、命を大切に育てる児童の育成 ○ 健康・体力向上 自らの健康増進・体力向上に努め、運動に親しむ児童の育成 ○ 知・徳・体が育つ基礎の構築 苦難や逆境を乗り越えて人生を自ら創造していく児童の育成
★目指す学校像（ビジョン）		
【目指す児童像】 ◎ よく考える子ども（知育） ○ 思いやりのある子ども（徳育） ○ 体をきたえる子ども（体育） ○ 最後までやりぬく子ども（知・徳・体が育つ基礎） 【目指す学校像】 ○ 子供たちが、互いに学び合い成長する学校 ○ 安心して自分の力が発揮できる学校 ○ 教職員がプロ意識をもって、実践し達成感のある学校 ○ 学校・保護者・地域が連携し、信頼し合う、開かれた学校 【目指す教師像】 「子供にとって最大の教育環境は教師自身である」 ○ 向上心を持ち、物事に果敢に挑戦する教師 ○ 和をもって貢献する教師		

領域	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	取組指標		成果指標
確かな学力	○ 知識・技能、思考力・判断力・表現力等を育成するために、各教科等において日常的な言語活動を充実させ、「主体的・対話的で深い学び」を実現し、学力の向上を目指す。	○ 確かな学力の育成のために、各教科等において、日常的に「話すこと・聞くこと・書くこと」の指導に重点を置き、自分の考えをもち、伝え合い、学び合う学習を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・国語科の学習等を通して、ユニバーサルデザインを起点とした授業を展開する。 ・ICTの活用等を図り、自分に合った学び方を選ばせること、ペア学習やグループ学習を取り入れること等を通して、児童の考えが深まる授業を展開し、思考力・判断力・表現力等を育成する。 ・各教科等の発問や授業展開を工夫し、児童自らが考え、互いの考えを主体的に伝え合い、比較・検討することにより、自らの考えを深め、課題解決する力を育成する。 	4 95%以上の教員が、ユニバーサルデザインを起点とした授業づくりを行ったか。	4 児童アンケートで「授業が分かりやすい」と回答した児童が、90%以上	
				3 90%以上の教員が、ユニバーサルデザインを起点とした授業づくりを行ったか。	3 児童アンケートで「授業が分かりやすい」と回答した児童が、80%以上	
				2 80%以上の教員が、ユニバーサルデザインを起点とした授業づくりを行ったか。	2 児童アンケートで「授業が分かりやすい」と回答した児童が、70%以上	
				1 80%未満の教員が、ユニバーサルデザインを起点とした授業づくりを行ったか。	1 児童アンケートで「授業が分かりやすい」と回答した児童が、70%未満	
				4 95%以上の教員が、児童の考えが深まる授業づくりに計画的に取組むことができたか。	4 児童アンケートで「自分の考えを伝えている」と回答した児童が、90%以上	
				3 90%以上の教員が、児童の考えが深まる授業づくりに計画的に取組むことができたか。	3 児童アンケートで「自分の考えを伝えている」と回答した児童が、80%以上	
				2 80%以上の教員が、児童の考えが深まる授業づくりに計画的に取組むことができたか。	2 児童アンケートで「自分の考えを伝えている」と回答した児童が、70%以上	
				1 80%未満の教員が、児童の考えが深まる授業づくりに計画的に取組むことができたか。	1 児童アンケートで「自分の考えを伝えている」と回答した児童が、70%未満	
豊かな人間性	○ 自己を律し、他と協調し、命を大切に思いやりのある児童を育成する。 ○ 相手意識をもち行動する児童を育成するため、全教育活動を通じて実施する道徳教育を推進する。 ○ 道徳科の学習を要として、思いやりの心を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 多様な他者と協働する様々な集団活動に自主的・実践的に取り組み、協調性を身に付ける。 ○ 生命のかけがえのなさを自覚し、生命を尊重する心情や態度を育む。 ○ 相手意識をもち行動する児童を育成するため、全教育活動を通じて実施する道徳教育を推進する。 ○ 道徳科の学習を要として、思いやりの心を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・居心地のよい学校・学級をつくるために、学習や生活における児童一人一人の姿をきめ細かく見取る。 ・学期ごとにアンケート調査を実施し、児童の実態や課題を把握し、いじめ等の未然防止、早期発見、早期対応を図る。 ・児童の課題に対し、生活指導夕会にて情報共有及び共通理解を図る。 ・支援委員会、いじめ対策委員会を中心に、生活指導、特別支援教育の視点から、不登校やいじめ等の対応を図る。 ・学習形態を工夫し、「考え、議論する道徳」の授業を展開し、道徳的な判断力、心情、実践意欲とその態度を育てる。 ・道徳科授業の充実のために、「書く活動」を取り入れ、自己肯定感を高め、命の尊さや思いやりの心等、自他を大切にすることを育む。 ・異学年、通常の学級、ひばり学級、特別支援学校、保育園等との交流や副籍交流を通して、互いを認め合い、相手の立場に立って考える力を身に付ける。 	4 95%以上の教員が、児童理解に努めることができたか。	4 児童アンケートで「学校は楽しい」と回答した児童が、90%以上	
				3 90%以上の教員が、児童理解に努めることができたか。	3 児童アンケートで「学校は楽しい」と回答した児童が、80%以上	
				2 80%以上の教員が、児童理解に努めることができたか。	2 児童アンケートで「学校は楽しい」と回答した児童が、70%以上	
				1 80%未満の教員が、児童理解に努めることができたか。	1 児童アンケートで「学校は楽しい」と回答した児童が、70%未満	
				4 95%以上の教員が、命の大切さ等について考えさせる授業を行うことができたか。	4 児童アンケートで「命の大切さ等についてよく学んだ」と回答した児童が、90%以上	
				3 90%以上の教員が、命の大切さ等について考えさせる授業を行うことができたか。	3 児童アンケートで「命の大切さ等についてよく学んだ」と回答した児童が、80%以上	
				2 80%以上の教員が、命の大切さ等について考えさせる授業を行うことができたか。	2 児童アンケートで「命の大切さ等についてよく学んだ」と回答した児童が、70%以上	
				1 80%未満の教員が、命の大切さ等について考えさせる授業を行うことができたか。	1 児童アンケートで「命の大切さ等についてよく学んだ」と回答した児童が、70%未満	
健康・体力向上	○ 体力向上の推進を図り、心身共に健康な児童の育成を図る。	○ 体育科の授業改善、体力向上週間の取組、休み時間の外遊び等において、体を動かす楽しさを児童自ら実感できるよう指導方法や取組を工夫する。	<ul style="list-style-type: none"> ・休み時間の外遊びを奨励するとともに、体育の授業において場の工夫、運動量の確保、ICTの活用を取り入れ、授業の充実を図る。 ・体力向上週間を学期ごとに設定し、体育の時間以外にも積極的に運動に親しむ態度を育てる。 ・オリンピック・パラリンピアンや社会人講師を招き、運動の楽しさを体験する機会を設ける。 	4 95%以上の教員が、積極的に運動に親しむ機会を設けることができたか。	4 児童アンケートで「体を動かすことが好き」と回答した児童が、90%以上	
				3 90%以上の教員が、積極的に運動に親しむ機会を設けることができたか。	3 児童アンケートで「体を動かすことが好き」と回答した児童が、80%以上	
				2 80%以上の教員が、積極的に運動に親しむ機会を設けることができたか。	2 児童アンケートで「体を動かすことが好き」と回答した児童が、70%以上	
				1 80%未満の教員が、積極的に運動に親しむ機会を設けることができたか。	1 児童アンケートで「体を動かすことが好き」と回答した児童が、70%未満	
				4 95%以上の教員が、地域と結び付いた学習を行うことができたか。	4 児童の成果物で「地域に対して発信や還元ができています」児童が90%以上	
				3 90%以上の教員が、地域と結び付いた学習を行うことができたか。	3 児童の成果物で「地域に対して発信や還元ができています」児童が80%以上	
				2 80%以上の教員が、地域と結び付いた学習を行うことができたか。	2 児童の成果物で「地域に対して発信や還元ができています」児童が70%以上	
				1 80%未満の教員が、地域と結び付いた学習を行うことができたか。	1 児童の成果物で「地域に対して発信や還元ができています」児童が70%未満	
開かれた学校・特色ある学校	○ 地域教材・地域人材を活用し、体験的・課題解決的な学習を通して、地域や学校に対する誇りと愛着を育み、地域のために貢献しようとする意欲を育てる。	○ 地域の人と出会い、関わり合いながら、わくわくが広がる環境をつくり、生活科、総合的な学習の時間のふるさと学習「日野大好きプロジェクト」を充実させる。	<ul style="list-style-type: none"> ・年間指導計画に基づき、学年の発達段階に応じた地域教材、地域人材を活用した学習を実施する。 ・地域への関心を高め、学習したことを地域へ発信・還元できる学習活動を展開する。 ・全学年が、生活科・総合的な学習の時間において、ふるさと学習「日野大好きプロジェクト」に取り組み、地域に対する誇りと愛着をもたせる指導を行う。 ・総合的な学習の時間においては、児童自ら課題を設定し、探究的に取り組む、課題解決学習を展開する。 	4 95%以上の教員が、課題解決学習を行うことができたか。	4 児童アンケートで「ふるさと学習『日野大好きプロジェクト』の時間は楽しい」と回答した児童が、90%以上	
				3 90%以上の教員が、課題解決学習を行うことができたか。	3 児童アンケートで「ふるさと学習『日野大好きプロジェクト』の時間は楽しい」と回答した児童が、80%以上	
				2 80%以上の教員が、課題解決学習を行うことができたか。	2 児童アンケートで「ふるさと学習『日野大好きプロジェクト』の時間は楽しい」と回答した児童が、70%以上	
				1 80%未満の教員が、課題解決学習を行うことができたか。	1 児童アンケートで「ふるさと学習『日野大好きプロジェクト』の時間は楽しい」と回答した児童が、70%未満	
				4 95%以上の教員が、学習環境や言語環境を整えるよう努めることができたか。	4 児童アンケートで「返事や気持ちのよい挨拶ができた」と回答した児童が、90%以上	
				3 90%以上の教員が、学習環境や言語環境を整えるよう努めることができたか。	3 児童アンケートで「返事や気持ちのよい挨拶ができた」と回答した児童が、80%以上	
				2 80%以上の教員が、学習環境や言語環境を整えるよう努めることができたか。	2 児童アンケートで「返事や気持ちのよい挨拶ができた」と回答した児童が、70%以上	
				1 80%未満の教員が、学習環境や言語環境を整えるよう努めることができたか。	1 児童アンケートで「返事や気持ちのよい挨拶ができた」と回答した児童が、70%未満	
生活規律	○ 学習環境・言語環境を整え、集団生活の規範意識を高める。	○ 日常生活の中で、挨拶や言葉遣い等、相手の立場や気持ちに寄り添った言動を身に付ける。 ○ 互いを尊重した集団生活を構築する。	<ul style="list-style-type: none"> ・学習環境・言語環境を整え、場に応じた挨拶や適切な言葉遣いができるよう指導する。 ・朝の会、帰りの会等において、日々の行動や言葉遣い等を振り返る機会をつくり、集団生活におけるルールやマナーを遵守する意識を高める。 	4 95%以上の教員が、学習環境や言語環境を整えるよう努めることができたか。	4 児童アンケートで「返事や気持ちのよい挨拶ができた」と回答した児童が、90%以上	
				3 90%以上の教員が、学習環境や言語環境を整えるよう努めることができたか。	3 児童アンケートで「返事や気持ちのよい挨拶ができた」と回答した児童が、80%以上	
				2 80%以上の教員が、学習環境や言語環境を整えるよう努めることができたか。	2 児童アンケートで「返事や気持ちのよい挨拶ができた」と回答した児童が、70%以上	
				1 80%未満の教員が、学習環境や言語環境を整えるよう努めることができたか。	1 児童アンケートで「返事や気持ちのよい挨拶ができた」と回答した児童が、70%未満	

※評価指標・評価基準は、2の段階を現状としています。